

# 「自信と誇り」

北海道おといねっふ美術工芸高等学校長

伊藤良平



保護者の皆様へ

音威子府村はまだ雪が多く残っていますが、少しずつ春の訪れを感じています。周りの景色とは関係なく時間は確実に過ぎ、平成28年度もまもなく終わろうとしています。日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただいておりますことに心より感謝申し上げます。子どもたちには本校で様々なことを学びながら、3年間でそれぞれの「自信と誇り」を身につけてほしいと考えています。

1年、2年前、中学校を卒業した多くの子どもたちが地元の高等学校へ進学する中、一抹の不安を持って、遠く離れた音威子府の地へ送り出したことを思い出されていることと思います。子どもたちは少しずつたくましさや自信に溢れた高校生の顔に変わっています。それは、大人へと成長を続けている証であり、日本の明るい未来を象徴する変化であると私は確信しています。

さて、先日卒業式が行われました。卒業生が希望と自信に満ちた姿や本校で出会った仲間と過ごしたことを誇らしげに話すのを見て、保護者の喜びとともに教職員一同、大変嬉しく思いました。また、この日のためにこれまでの3年間があるのだといつも感動するとともに、明日からの私たちの活力になっています。

36年前、高校を卒業したときの私は、一流のエンジニア、研究者等になることを漠然と夢みていましたが、将来の自分に自信がなく何を具体的にしたいのかまったく想像がつかせませんでした。しかし、その時努力したことは無駄ではなく、今の自分を支えていると思います。

確かに、子どもたちの進路について早い時期に目標を定め、まっすぐに進むことは効果的です。しかし、高校時代は二度と戻らない大事な時期であり、遠回りしても高校時代にしかできないこともあります。

子どもの成長にはスピードの違いがあり、教育の成果にも差があります。親も教師も生徒の成長を願うとともに、将来幸せな人生を送って欲しいと考え、当然子どもたちに成果を期待します。自分の高校時代や他の子どもとの比較がそのまま評価となることがあります。子どもたちを変えようと様々な課題を与えますが、そう簡単に子どもたちは変わりません。

しかし、あるとき急にやる気になる生徒がいます。共通して人がモチベーションが高くなるのは、褒められたとき、認められたとき、先が見えたとき、自信がついたとき等です。これは子どもも大人も同じです。厳しい社会へいかに接続するかを考えますが、今こそ高校時代に高校生としての基礎的な力をしっかり身につけることがより大切です。そのことを子どもたちは私たち以上にわかっているような気がします。自分の思うとおりにならないことも知っています。「ものづくり」教育は、失敗があるからこそ成長することも知っています。

そして、様々な体験を通して今までできなかったことができるようになることが少しずつ増えていきます。これが本当の「自信」になります。小さな自信の積み重ねが他者から認められ、やがて他者へのやさしさと変わっていきます。そのときに人は自分の居場所を見つけそれぞれの「誇り」が持てるようになります。

今後も、本校の生徒が「自信と誇り」を持てるよう努力していきたいと考えています。学校評価等、皆様方から頂いたご意見を謙虚に踏まえながら、学校としてできること、できないことがあります。「すべては子どもたちのために」を肝に銘じ、次年度に向けて教職員一丸となって、村の宝、日本の宝を大事に育てていきたいと考えています。

保護者の皆様におかれましても、これからもその温かい眼差しでお子様を見守り続けてください。今後ともご協力をお願いいたします。



卒業式 (3月1日撮影)

学校だより

No.5

平成29年3月24日  
発行



〒098-2501  
北海道中川郡  
音威子府村  
字音威子府  
181番地の1

## 「一年間を振り返って」

PTA副会長 城守克洋

保護者の皆様や先輩役員の方々、校長先生をはじめとして先生方の温かいご支援ご協力を賜りながらPTA活動を終えることが出来ました。

昨年12月にご逝去された志村正美PTA会長の元、学校祭でのPTAバザーを保護者の皆様のご協力でご成功させていただいたことを本当に感謝しております。

保護者の皆様には、今後も色々なPTA活動にご協力をよろしく願いいたします。一年間、本当にありがとうございました。

### 【転出者】

西後 勝美 教頭先生 北海道函館工業高等学校へ

野村 幸伸 先生 北海道深川西高等学校へ

吉田 香織 先生 北海道名寄高等学校へ

碓矢 真由 先生 退職

## 4月行事予定

- 9日(日) 2・3年帰寮
- 10日(月) 着任式、前期始業式、全校集会、入寮式
- 11日(火) 第34回入学式、PTA体文総会
- 12日(水) 個人写真撮影
- 13日(木) 生徒会対面式
- 17日(月) 結核検診(1学年)
- 19日(水) 内科検診(全学年)
- 20日(木) 2計測・視力・聴力検査(全学年)
- 21日(金) 見学旅行結団式
- 24日(月)～28(金) 見学旅行(3学年)
- 28日(金) 全校集会
- 29日(土) 帰省日

## 教務部から

教務部長 吉田 香織

3月1日に卒業式が挙行政され、39名の3年生が巣立っていきました。雪深い音威子府もようやくアスファルトが顔を出し、春が感じられるようになりました。本年度も保護者のみなさまにおかれましては、PTA活動のみならずあらゆる場面でのご協力を賜り感謝申し上げます。

2週間ほどで、新1年生が入学してきます。期待と不安でいっぱいの新入生の気持ちを一番分かってあげられるのは、同じ道を通ってきた先輩たちです。時代の変化や個性の違いがあっても、本校で1年間・2年間を過ごしてきた生徒達は、やはり本校生らしくなり、上級生となる意識を高めていく姿が見られます。勉強・制作・部活動や寮生活を通じて、正義感や責任感などが強く育まれるとともに、気遣いや周囲へ配慮が身に付いてゆきます。もちろん、その過程の中では悩むことも、辛い思いをすることも多いかと思いますが、それらを乗り越えながら、どの生徒も少しずつ成長していきます。

新年度はまたひとりひとりが、新たな立場や環境となります。どの学年にとっても同じような1年では決してありません。自分にできる事、今すべき事に向き合いながら、入学してくる生徒達の指針となってくれることを期待しています。

## 生徒指導部から

生徒指導部長 棚橋 栄治

厳しい冬が終わって春を迎える。

毎年繰り返される季節の変化と月日の積み重ね。

日々、身体的に成長し、精神的な成長を期待される生徒諸君。

一年生諸君はこの一年を、二年生諸君は二年を振り返り、一年前の自分、二年前の自分とをしっかりと見比べ、自らの成長について考える。

その上で、自分の世界の中ではなく、広く世の中を見渡し、その社会の中で生きていく、生きていかななくてはならない一人としての自分を思い描いていく。

その節目となるのが毎年やってくる春。

諸君は新しく後輩達を迎え、上級生として新しい後輩達に自らの成長した姿を見せながら後輩の成長を促し、その中で得られた新たな気付きが更に諸君を成長させる。

新しい1年がもうすぐ始まる。

また今年も白樺の樹液、雪中登山、そしてギョウジャニンニク採りを楽しもう。

## 進路指導部から

進路指導部長 碓矢 真由

在校生の皆さん、進級おめでとうございます。新3年生は進路確定が目前に迫っていますが、まだ決意が固まっていない人もいます。目標が大きければ大きい程、出来ない自分に傷つくし、かといって志も何もないまま適当に過ごしたくもない。でも最終的に決めるのはいつも自分です。人生に正攻法はありませんが、成功例はどれも「急がば基礎基本」でズルをせず着実に努力を積み重ねている人です。だったらもう、やるしかない！これだけです。

高校生活最後の1年は、これまで以上に色々な「気分」が自分を占拠します。「全てを投げ出したい気分」「先が見えず不安な気分」「自分より周りの人を羨ましいと思う気分」・・・、人は自分に余裕がなくなるとつい、これまでの誰かの支えやその感謝を忘れて「自分は可哀想だ」と負の感情に気持ちを支配されがちです。辛くなったら周りを見て。きっと自分と同じように、みんなやり場のない気持ちを抱えながら懸命に戦っているはず。高校生活最後の1年、共に戦う仲間を大切に頑張ってください。

## お知らせ

○寮監補着任及び4月からの寮監の体制について

1月より北海道おといねっふ美術工芸高等学校チセネシリ寮の寮監補として、本校卒業生である佐藤雅隆さんが着任され夜と朝の巡回などで生徒の様子を見て頂いております。また、4月より佐藤雅隆さんが寮監となり寮監が3名体制となります。

生徒が寮で、安全・安心に生活できるよう見守ってまいりますので、よろしく願いいたします。

### 【編集後記】

平成28年度も無事終了し、多くの方々のご理解とご協力、多大なるご支援をいただいた事に心から感謝申し上げます。

休業中に、新3年生は保護者と進路について話をたくさんして下さい。新2年生は、貴重な時間を次の目標を決める有意義なものにして下さい。4月には、新入生が40名入学し、また、新しい先生方を迎え、新生「おと高」がスタートします。新学期への準備をしっかりと行い、村に戻ってきてください。